

<第1号議案>

公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

平成28年度事業報告書

(平成28年1月1日～12月31日)

平成28年度実施した事業の概要は、次のとおりである。

1. 第67回結核予防全国大会の後援

結核予防会主催の第67回結核予防全国大会を後援した。

なお、本協議会関連の主なる行事は次のとおりである。

【第1日】 2月4日(木) 横浜ベイホテル東急(神奈川県横浜市)

イ. 研鑽集会

横浜ベイホテル東急(クイーンズA・B) 13:30～16:55

テーマ:「地域で高齢結核患者を支える—これからの地域連携—」

基調講演

演題:「地域における高齢者支援—認知症とともに生きる社会をつくる—」

演者:東京都健康長寿医療センター研究所研究部長 粟田 圭一

座長:公益財団法人結核予防会結核研究所所長 石川 信克

シンポジウム

座長:神奈川県衛生研究所長 岡部 英男

公益財団法人結核予防会結核研究所 副所長 加藤 誠也

アトラクション

内容:神奈川フィルハーモニー管弦楽団による弦楽四重奏の調べ

ロ. 懇談会

横浜ベイホテル東急(アンバサS・N) 17:15～17:55

ハ. 記念写真撮影

横浜ベイホテル東急(写真室) 18:15～18:25

ニ. 大会歓迎レセプション

横浜ベイホテル東急(クイーンズC・D) 19:00～20:30

【第2日】 2月5日(金) 横浜ベイホテル東急(神奈川県横浜市)

イ. 大会式典・議事

横浜ベイホテル東急(クイーンズA・B・C・D) 10:00～11:20

式次第

- | | | |
|-------------------|--------------------|-------|
| (1) 開会のことば | 公益財団法人神奈川県結核予防会理事長 | 山本 正人 |
| (2) 大会運営委員長あいさつ | 神奈川県知事 | 黒岩 祐治 |
| (3) 結核予防会理事長あいさつ | 公益財団法人結核予防会理事長 | 工藤 翔二 |
| (4) 結核予防会総裁おことば | 公益財団法人結核予防会総裁 | |
| (5) 秩父宮妃記念結核予防功労賞 | 第19回受賞者表彰 | |
| (6) 来賓祝辞 | 厚生労働大臣 | 塩崎 恭久 |

公益社団法人日本医師会会長 横倉 義武
公益社団法人全国結核予防
婦人団体連絡協議会副会長 木下 幸子

□. 特別講演

横浜ベイホテル東急（クイーンズA・B・C・D） 11：30～12：20

演 題：「結核のサナトリウム療法と神奈川県湘南地方」

講 師：公益財団法人結核予防会顧問 島尾 忠男

(7) 閉会のことば 神奈川県保健福祉局長 中村 正樹

2. 結核予防関係婦人団体幹部研修会の開催

結核予防関係婦人団体中央講習会を結核予防会との共催により開催した。

地区別結核予防婦人団体幹部研修会を、開催地区結核予防会各支部と地元婦人会との共催のもとで開催した。

結核予防を中心とした公衆衛生知識の向上と、各参加団体会員相互の交流を目的として実施した。

(1) 第20回結核予防関係婦人団体中央講習会

期 日： 平成28年2月9日（火）～10日（水）

場 所： KKRホテル東京（千代田区）

参加人数： 101名

(2) 地区別結核予防婦人団体幹部研修会（5地区）

- | | | | |
|-----------|-------|------------|---------------|
| イ. 北海道地区 | （北海道） | 7月1日～2日 | 国立大雪青少年交流の家 |
| ロ. 東北地区 | （福島県） | 11月17日～18日 | 飯坂温泉 摺上亭大鳥 |
| ハ. 東海北陸地区 | （岐阜県） | 12月1日～2日 | 岐阜長良川温泉ホテルパーク |
| ニ. 近畿地区 | （京都府） | 10月11日～12日 | ホテルモントレ京都 |
| ホ. 九州地区 | （沖縄県） | 11月15日～16日 | パシフィックホテル沖縄 |

3. 結核予防週間の共催

厚生労働省、都道府県、政令市、特別区、結核予防会、日本医師会、並びに本協議会共催で、平成27年9月24日～30日に実施した。本週間中には各地域において全国一斉複十字シール運動キャンペーンをはじめとする各種の行事を行うとともに、結核予防への関心を高めた。

4. 教育広報誌「健康の輪」の発行

結核及び公衆衛生全般の知識の向上と会員相互の連携を深める目的で発行しているものであるが、平成28年度も、例年通り3月、7月、11月にそれぞれNo.116、No.117、No.118を発行配布した。A4版、10頁、年3回1回につき33,000部発行した。

5. 複十字シール運動の後援、実施

結核予防会主催、厚生労働省・文部科学省及び本協議会後援により実施されている本運動に参加し、結核予防の教育広報並びに資金造成に努めた。

具体的には、以下の2事業を実施した。

(1) 複十字シール運動開始日(8月1日)を中心として、結核予防会本部役員と本協議会会長が厚生労働大臣室を、結核予防会各都道府県支部幹部職員と本協議会各都道府県の会長が各知事室を訪問し、「大会宣言」の説明に加え、全国及び地域の結核の現状を報告することにより、複十字シール募金運動の意義を理解していただき、各自治体から結核予防思想について広く一般に伝え、一層の普及を図っていただくよう依頼した。今年の厚生労働大臣表敬訪問(福島健康局長が対応)は9月13日に行った。

全国結核予防婦人団体連絡協議会から木下会長と山下事務局長、結核予防会からは工藤理事長、前川事業部長、小林募金推進部長、齋藤管理課長、久保田推進課長が出席した。

木下会長から、会長就任にあたっての決意表明と婦人会の活動について報告した。福島健康局長から、結核予防の普及啓発については、役所の取り組み以上に婦人会をはじめとする民間の活動が効果的で、今後ご協力いただきたいとの言葉をいただいた。

(2) 結核予防週間の初日(平成28年9月24日)を中心として全国一斉複十字シール運動キャンペーンを、結核予防会各都道府県支部との協力の下に実施し、本運動及び結核予防の普及啓発を図った。

6. 普及広報資材の製作

全国一斉複十字シール運動キャンペーン用資材としてカットバン(シールぼうやのカラーデザイン)を39,450個作成し、各キャンペーン時に配布した。

7. 国際協力

結核予防会が行っている国際協力事業を進めるにあたって、複十字シール募金を通じて資金造成に協力した。

カンボジア結核対策スタディーツアー2016については一般、結核予防会全国47支部、そして本協議会全国48婦人団体に応募を募り、婦人会から6名、一般1名、山下事務局長と事務局員1名の計9名が参加した。

下記スケジュールの視察により、具体的にシール募金が結核対策の国際協力に役立っている現場を目で見て、肌で感じて、更なる募金活動強化につなげる有意義な視察となり、カンボジア結核予防会に活動資金として1,000ドル贈呈した。

期日 平成28年12月12日~12月16日(4泊5日)

スケジュール

12月12日 成田発(10:50)ープノンペン着(15:40)

ホテルチェックイン

12月13日 CATAプロジェクトサイト視察(縫製工場)・保健大臣表敬・市内観光(王宮)・自由行動

12月14日 外務省N連プロジェクトサイトピアレンOD視察・州病院長表敬、活動説明、州病院(含むデジタルX線・LED顕微鏡)/リアップHC出張健診視察・自由行動・カンボジア結核予防会職員との懇親会

- 12月15日 経済産業省プロジェクトサイト視察（健診・検査センター）、プロジェクト概要説明・CATA事務所表敬・CATA活動説明・CATA婦人会との交流・市内観光（ツールズレン博物館）・自由行動
プノンペン発(22:50)ー成田着
- 12月16日 成田着(6:55)

8. 世界結核デー

3月24日はWHOが制定した「世界結核デー」である。
その周知についての広報活動を行った。

9. ストップ結核パートナーシップ日本への参画

国内の結核対策を充実させ、結核低まん延国化を図る。またこれまでの知見を生かして結核が多い地域への支援を充実させる。このため、行政機関、研究機関、市民社会、民間企業などの多様なセクターで構成された連合体を組織し、加盟団体は協調して政治的支援、住民参加を得て日本と世界の結核対策を推進させた。

平成27年度に事業資金として500万円支援したアジア・ナショナル・ストップ結核パートナーフォーラム2016が、3月14日～15日に開催された。このフォーラムに協賛し、定期社員総会後に同会場で行った特別講演を聴講したフォーラム参加者と交流を行った。

フォーラムと特別講演は次のとおりである。

■アジア・ナショナル・ストップ結核パートナーフォーラム2016

3月14日 国連大学

3月15日 結核予防会結核研究所

メインテーマ アジアの「結核早期根絶戦略」における住民の役割

※統一標語の策定の提案がされ、「女性は家族と地域の健康の担い手」というメッセージが採択された。

■特別講演

3月14日 ホテルニューオータニ

演題 結核対策における市民組織の役割

演者 世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務局

結核ハンセン病課課長 錦織 信幸

10. 生活習慣病対策の後援

これまでの僻地・離島を含めた全国津々浦々で結核健診と保健指導を一体として行ってきた経験と実績をこれからの生活習慣病対策に活かすべく、健診と保健指導を中心とするJATA健康ネットワーク事業を予防会本部支部防組組織を挙げて推進している。

今日的国民病となった生活習慣病対策に取り組む結核予防会を支援し、さまざまな健診の受診率向上の推進及び生活習慣病対策を国民運動に高めていく活動を支援した。

11. COPD対策事業への取り組み

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見と早期治療のための普及啓発を行っている結核予防会と協力し、COPD（慢性閉塞性肺疾患）に関する知識を深め国民の認識と理解を高めるため

に、地域住民をはじめとする社会への積極的な働きかけをして、第二次健康日本21の目標達成に協力した。

12. 世界禁煙デー

5月31日はWHOが制定した「世界禁煙デー」である。その周知についての広報活動を行った。

13. 女性の健康週間の協力

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会主唱の「女性の健康週間」に本協議会は協力関係団体として取り組んだ。3月1日～8日（ただし、地域の実情による期間延長等の変更は差し支えない）の本週間中には、子宮がん・乳がん健診等の受診率アップや、女性を取り巻く健康課題に対する社会的関心の喚起を図るため、行政が行う各種の啓発事業及び行事等に積極的に協力した。

14. ヒューマン・ケア心の絆プロジェクトの共催

一般社団法人ヒューマン・ケア心の絆プロジェクトが主催する医療支援を中心とした被災地（岩手県・宮城県・福島県）への支援活動「心の絆プロジェクト」に本協議会は共催し、結核予防会と共に健康チェックのひとつとして肺年齢測定を無料で今年も実施した。

それにより、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の理解を呼びかけ、多くの被災住民に生活習慣病のケア活動ができた。

具体的には、以下の2県2カ所で221名実施した。

- | | | |
|----------|-----------|-----|
| ① 11月12日 | 岩手県宮古市田老町 | 26名 |
| ② 11月27日 | 宮城県気仙沼市 | 63名 |

15. 健康日本21推進全国連絡協議会への協力

すこやか生活習慣国民運動実行委員会の加入団体として、医療、保健、栄養（食生活）、運動、禁煙の各専門分野（分科会）からの情報を共有し、事業展開に協力した。

また、厚生労働省主催のスマートライフプロジェクトのCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の知識向上・禁煙支援・生活習慣病予防のための普及啓発活動について情報を共有し、事業展開に協力した。

16. 各婦人会組織の実態や活動に関する調査について

平成27年度に当協議会事務局宛に「各婦人会の実態を把握しているか」という質問が、ある婦人会よりあったことを受けて、婦人会の実態調査を行った（調査実施については、平成27年度第2回理事会にて承認済み）。以前結核研究所に勤務し、婦人会の研究をしたことのある松田先生に研究費で調査をお願いし、10月から11月にかけて各婦人会に調査にご協力をいただいた。（内容は募金の集め方、会員構成について等）

17. 熊本震災義捐金

4月14日に熊本県で起きた大地震は、熊本県健康をまもる婦人の会に甚大な被害をもたらした。通常の事業活動ができない状況に至った。事業再開のために全国婦人団体に義捐金協力をよびかけ、全国から集まった3,675,889円をお見舞金として6月13日に贈った。

18. 会議の開催

(1) 定期社員総会

期日 平成28年3月14日(月) 13:00～14:05
場所 ホテルニューオータニ(芙蓉西の間)
議案 平成27年度事業報告・各婦人会からの事業報告・収支決算報告について
平成28年度事業計画(案)・収支予算(案)について
役員を選任について

(2) 理事会

第1回(書面決裁)

議案 平成27年度事業報告・収支決算報告について
平成28年度事業計画(案)・収支予算(案)について
役員互選について
執行理事からの活動報告

第2回

期日 平成28年3月14日(月) 14:05～14:20
場所 ホテルニューオータニ(芙蓉西の間)
議案 新理事の紹介、会長・副会長の互選について

第3回

期日 平成28年11月30日(水) 13:10～14:30
場所 公益財団法人結核予防会(5階会議室)
議案 (1) 定期社員総会の開催について
(2) 平成29年度事業計画(案)について
(3) 平成29年度収支予算(案)について
(4) 会長・副会長・業務執行理事からの活動報告
(5) その他
① 急がれる「待機児童問題」について
② カンボジア結核対策スタディツアーについて
③ 第6回APRC婦人会シンポジウムについて
④ 婦人会組織の実態や活動に関する調査について
⑤ 創立40周年記念「婦人の国際会議」開催について